

# 日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発行所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局  
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室  
TEL：0263-37-2622 FAX：0263-37-3499  
発行責任者：地方会長 野見山 哲生



## 巻頭言



### 本質を見極める ～リスクアセスメントに思うこと～

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会  
長野県常任理事 塚原 照臣

今から30年以上も昔、私が浪人生初日を迎えた日の話である。私は予備校の化学の某講師の第1回目の講座を受講した。講義冒頭、黒板に基本的な問題が記された。その問題を解きなさいとの指示である。基本的な公式を当てはめれば即答できる平易な問題だった。いくら浪人生だからって、あまりに人を小馬鹿にした問題ではないか、といった雰囲気は教室全体に流れた。講師は教室を一巡、ノートに記された解答が全員正答であることを確認の上、ひとこと。「だからあなた達は大学に受からずに予備校に居るのです！」と一喝された。「公式を導いたボイル、シャルルの視点に立ちなさい。分子の立場になって考えてみなさい。」の言葉に、化学の基本知識を習得する以前に、視点の持ち方に大きな衝撃を受けた。

リスクアセスメントは、職場における潜在的な危険性又は有害性を見つけ、リスクを見積もり、除去、低減するものである。私自身、労働衛生教育や職場巡視時において、その浸透に努めている。“字面”において、リスクアセスメントという用語を耳にしたことがないという安全衛生管理担当者や管理監督者は私の経験上皆無である。ところが理論を離れて、具体的な現場対応の意見交換を行うと、“顕在化”したリスク、すなわち生じた事故や健康障害への対応に関するものが中心となる。“潜在的な”危険性や有害性、そこから予想されるリスクの話には容易に及ばない。リスクアセスメントの理論と実践が一貫したものになっておらず、産業医としての力不足を痛感する瞬間である。如何にすれば職場に潜む危険性や有害性に目を向けることができる安全衛生管理に関する風土の醸成を図ることができるようになるか、自問の日々である。

分子の立場になって受験問題をとらえられるようになった時、応用問題への対応力は豊かになり、化学は得意科目になった。単に公式を暗記しているだけでは応用が効かず、解答時に限界を感じた。安全衛生管理についても、日進月歩で知見の集積、法の改正などがある。その追随だけに目を奪われていると、本質をとらえそびれ、真の対策につなげ損なう。現場の視点に立ち、本質を見極めることができる安全衛生管理の風土が醸成できる産業医になれるよう精進する毎日である。

# 第62回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会

長野県医師会長 関 隆教先生を学会長として長野県長野市で開催致します。

総会前日には前日企画も予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 学会総会

日時：2019年10月20日（日） 9：00～15：30

会場：清泉女学院長野駅東口キャンパス ピラール館

〒380-0921 長野県長野市大字栗田 1038-7

特別講演「変化する社会と産業保健：日本産業衛生学会の役割」

日本産業衛生学会理事長 川上 憲人

シンポジウム「働き方改革について考える」

- (1) 「働き方改革」の行政の動向について 長野労働局 政木 隆一
- (2) 「味の素における働き方改革」 味の素株式会社 福永 貴昭

## 前日企画

日時：2019年10月19日（土） 12：45～17：30

会場：清泉女学院長野駅東口キャンパス ピラール館

〒380-0921 長野県長野市大字栗田 1038-7

○地方会産業看護部会・長野県産業看護研究会企画

教育講演「産業保健をとりまく社会情勢と産業看護職への期待」

日本産業衛生学会産業看護部会 副部長 住徳 松子

○三部会合同セミナー

シンポジウム「職場に潜む危険・有害要因の特定と就業上の配慮」

～法的な側面から配慮すべきポイント～

※詳細は地方会ホームページをご覧ください

※参加申込書は地方会ホームページ「行事案内」よりダウンロードしてください。

[http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/pmph/sanei\\_chihoukai/info/index.html](http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/pmph/sanei_chihoukai/info/index.html)

## 問い合わせ先

第62回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会事務局

〒390-8621 松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室

電話:0263-37-2622 (事務局) Fax:0263-37-3499

Mail : [jsoh\\_hk\\_region@shinshu-u.ac.jp](mailto:jsoh_hk_region@shinshu-u.ac.jp)

**第62回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会**

日時：2019年10月20日（日）9:00～15:30  
場所：清泉女学院長野駅東口キャンパス ピラール館

< プログラム >  
9:15-10:15 特別講演「産業保健における日本産業衛生学会の役割」  
日本産業衛生学会理事長 川上 憲人  
10:25-12:00 一般演題  
12:00-12:30 総会  
12:30-13:30 昼食休憩  
13:30-15:30 シンポジウム「働き方改革について考える」  
長野労働局  
(1) 「働き方改革」の行政の動向について  
(2) 「味の素における働き方改革」  
味の素株式会社 福永 貴昭  
(3) 総会討論

単位認定  
・日本認定産業医制度指定研修会  
・社会医学系専門医・指導医講習会  
・日本産業衛生学会  
・産業保健看護専門医研修単位認定済み研修会

< 前日企画 >  
日時：2019年10月19日（土）12:45～17:30 会場：清泉女学院長野駅東口キャンパス ピラール館  
○地方会産業看護部会・長野県産業看護研究会企画 12:45～14:45  
教育講演「産業保健をとりまく社会情勢と産業看護職への期待」 日本産業衛生学会産業看護部会 副部長 住徳 松子  
○三部会合同セミナー 15:00～17:30  
シンポジウム「職場に潜む危険・有害要因の特定と就業上の配慮 ～法的な側面から配慮すべきポイント～」  
1. 職場に潜む危険・有害要因の特定と就業上の配慮 2. 産業保健看護職が関与する安全衛生管理におけるシナジー効果  
3. 産業医に求められる就業上の配慮と責任 4. 座談会  
5. 質疑応答  
6. 閉会式  
清泉女学院 松本市旭 3-1-1 TEL:0263-37-2622 FAX:0263-37-3499

## 【各種単位取得】

当日・前日の各シンポジウムが単位取得対象となります。

- 日本医師会認定産業医制度 生涯研修 (申請中)
- 日本産業衛生学会産業保健看護専門医制度の継続研修単位 (申請中)
- 社会医学系専門医・指導医講習会単位 (申請中)

## 【参加費 (学会・前日企画共通)】

学会員 (地方会)： 無料  
非学会員 (地方会)：1,000 円  
学生： 無料  
長野県医師会会員： 無料

## 地方会事業から

### ◇福井県の地方会事業

福井県の活動状況について報告します。まず、会員数の動向ですが、北陸甲信越地方会の中で最も少なく30名となっております。嘱託産業医の先生方や、企業で働いている保健職の方々に入会をお願いしておりますが、現状はあまり増えていません。学会としての活動も低調で、定期的に企画されているイベントは、年2回行われている産業看護職研究会のみです。

産業医研修会については、医師会や産業保健総合支援センターの主催で、1年通して県内各地で実施いただいております。講師は、県内の臨床家・産業医・その他専門家の先生、県外からも多くのご高名な先生方に担当いただいております。福井県内外の先生方が参加され、勉強の機会はある程度確保できていると思っております。産業保健職向けには、産業保健総合支援センター主催で衛生管理者研修を企画いただいております。

まずは会員数を増やすべく、地道な活動を続けていき、ゆくゆくは定期的な取り組みにつなげていきたいと思っております。

(文責 高山 英之)

### ◇新潟県の産業歯科保健活動

新潟県での産業歯科保健の活動は、(一社)新潟県歯科医師会地域保健部と、(公財)新潟県歯科保健協会を中心に取り組みが行われています。

主な活動としては、新潟県内の事業所歯科健診事業(特殊健診も含む)と歯科保健指導について、新潟県歯科保健協会が窓口となり、健診歯科医の派遣を県内各地の歯科医師会と協力して行い、歯科保健指導について歯科保健協会の専従歯科衛生士が主体となり行っています。また、事業所において活用できる歯科保健指導に関わる資料物品等の販売、貸出業務も行っております。近年、健康経営への意識の高まりから、事業所や保険者の要請による歯科健

康講話のニーズも高まっており、講師派遣業務も行っているところです。そして、新潟県医師会、新潟県産業保健総合支援センター主催の産業医講習会への講師派遣、新潟産業保健総合支援センター相談員、新潟産業保健研究会幹事、新潟県が実施する健康づくり事業の実施協力等を積極的に行っているところです。今後とも、本学会の会員の皆様、医師会、産保センター等関係団体の皆様に御指導頂きながら新潟の産業保健に貢献して参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

(文責 木戸 寿明)

### ◇産業医部会活動から

#### 『ワークショップ「ストレスチェックを利用した職場改善を進めるために」実施報告』

第61回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会において、産業医部会共催で「ストレスチェックを利用した職場改善を進めるために」をテーマとしたワークショップを開催した。参加者は16名であり、石川、福井、富山、長野、新潟と5県からの参加があり、産業医10名、産業看護職5名、衛生管理者1名といった職種の参加を得て、3グループで職場改善が進まない要因とその対策について討論を行った。



職場改善が進まない要因について書くグループで討議を行い、各グループからだされた要因から3つの要因を抽出した。次にその要因の対策についても検討し、①「職場改善のやり方がよくわからないという」課題には「産保センターを利用する、成功事例の紹介、QCや5Sといったすでに行われて

いる活動に組み込む」といった案、②「会社トップの理解のなさ」に関しては、「健康経営の視点から攻める、内部からの改善を行うというエネルギーを高める」といった案、③「社員の意識の低さ」に関しては、「改善活動の積み上げ、教育、成功事例をつくる」といった案が発表された。地域や職種を越えて熱心に討議され、有意義な時間となりました。

(文責 田畑 正司)

## 会員の取組み

### 「医師会の仕事と産業医活動について」

富山県高岡市医師会理事（産業保健担当）  
杉森 成実



私は、日本医師会の産業医資格は2002年に取得していましたが、実際に産業医活動を開始したのはごく最近であり、2015年に富山県高岡市医師会の産業保健担当理事となり、否応なしにさまざまな仕事を任されるようになってからのことです。ですので、産業医としての経験は浅く、それでよく医師会の理事が務まるなど我ながら呆れることもありますが、逆に色々なことが未経験で勉強になることばかりですので、むしろ楽しんで医師会の仕事も産業医活動もさせてもらっているというのが正直なところ。さて、高岡市医師会では、主として地域産業保健センターの活動に参加しておりますが、事前登録している50人以下の中小企業への職場巡視や、年2回開催される職場巡視の事例検討会、また各種健康相談や定期健診後の事後相談、産業医研修会の共催などいろいろな催しがあります。その中で、私は各種催しの年度計画や進行状況をチェックしたり、また、事例検討会の司会を務めるなどの責任もありますが、その一方で他の産業医の先生が巡視した事業場の例を検討会のスライドと一緒に検討し、その先生の視点や知識も共有できますので、産業医としては有効な勉強の場が与えられているものと思います。もともと高岡市は伝統的に銅器産業が盛んで中小の鋳物業者が多いところであり、そのような中小企業の産業保健の向上にも一役買っているものと自負しています。その他、知

識は足りないのに産業保健総合支援センターの臨時講師を依頼され、その準備に大わらわになったりしていますが、自分自身を研鑽する得難い機会だと思っております。日本産業衛生学会に加入したのも医師会理事になってからであり、学会への参加により啓発されることも多いですが、やはりなかなか理解不足の事柄も多いので、今後も学会員の皆様から啓発を受けつつ頑張っていきたいと思っております。

## 新入会員紹介

信州大学総合健康安全センター  
長谷川 航平



この度、産業衛生学会に入会させて頂きました、長谷川航平と申します。よろしくお申し上げます。

私は、信州大学医学部を卒業後、信州大学付属病院にて初期研修医として勤務させて頂きました後に、2019年4月より信州大学健康安全センターおよび信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室にてお世話になっております。

総合健康安全センターでは、森田洋先生のご指導の下、センター職員の方にお力添えを頂きながら、信州大学の産業医として大学および附属学校の安全管理に携わらせていただいております。安全衛生委員会や職場巡視では学ばせて頂くことが多く、非常に充実した日々を過ごさせて頂いております。

衛生学公衆衛生学教室では、野見山哲生先生および塚原照臣先生のご指導の下、先生各位および教室職員の方に支えて頂きながら、職域における健康管理に関する疫学研究に参加させて頂いております。

今後は、社会医学・公衆衛生分野におけるプロフェッショナルを目指し、精進して参ります。引き続き、皆様からご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 私たちの職場 『西日本旅客鉄道(株) 金沢健康増進センター』

### 鉄道事業における産業保健スタッフの役割

産業医 西澤 依小

西日本旅客鉄道(株)は、大阪市に本社のある、運輸業・流通業・不動産業を主な事業内容とする企業で、1987年4月1日、国鉄の分割民営化とともに発足してから30年以上経過しました。2005年には福知山線列車事故をおこしてしまった反省から、約28000人の社員が「安全の確保こそ最大の使命」であることを胸に刻み、毎日500万人以上のお客さまの安全と安心をお運びできるよう働いています。

本社所在地は大阪市ですが、我々の職場は主に金沢支社エリア(糸魚川～敦賀)の77の職場と約2900人の労働者に対する産業保健活動を、専属産業医1名、嘱託産業医3名、副支所長(事務)1名、保健師5名、看護師1名で担当しています。鉄道事業における現業機関(職場)は、駅、運輸(運転士や車掌)、車両(工場)、施設(線路や土木、機械設備等)、電気(架線や信号・踏切等)、これらを支える間接部門や指令所等があり、それに伴い特定業務や有害業務も含め業務内容も多彩です。さらに、“そこに線路が続く限り”存在しうる分離分散型職場ですから、保健師も連日“電車で”飛び回っています。



独自の取り組み例としては、「イコちゃんカップ」と題したウォークラリーを毎年秋に開催しています。これは、毎日歩いた歩数に基づきマップ上の電車の駅を各自の目標に合わせて進むイベントです。今でこそ、パーティウォークラリーは様々な場面で開催されるようになりましたが、11年前に初開催して以来、工夫を重ねながら改善し、今や社内の恒例行事として定着していることは、地道に取り組んできた成果のひとつとして自信につながっています。

今後も私たちに求められているのは、健康診断の事後措置やメンタルヘルス対策等の基盤となる産業保健活動はもちろんのこと、健康経営や受動喫煙対策等、時勢に合った取り組みを全社的な事業計画に同期するような形で進めていくように心がけること、そして、北陸新幹線の敦賀延伸とともに刻々と労働環境が変化していく労働者に対して、産業保健面からきめ細やかな支援ができるように心がけること、と考えています。

### リレー形式で会員の皆様の紹介をつないでいきます!

### 会員Relay ☆三

次号へ

YKK株式会社健康推進室 岡元千明先生のご紹介でスタート♪  
「富山県内で活動する保健スタッフとして、刺激を受けている人」



先輩 産業  
看護職の  
職場の  
産業医

#### 奥野 敬生

所属：日本通運(株)高岡支店  
職種/役職：保健師  
好きな言葉：笑顔  
趣味：旅行  
ひとこと：32年間継続してきた健康教室を今年度も如何に取り組むか奮闘中です。



ともに監事として地方会のお役に立つよう頑張っています

#### 田畑 正司(地方会監事)

所属：(一財)石川県予防医学協会  
職種/役職：医師/健康管理センター所長  
趣味：乗り鉄  
ひとこと：そろそろ、仕事も学会活動も次の世代にバトンタッチしたいと思っています。身近な目標は三陸沿線の鉄旅。



#### 金子 誉(地方会監事)

所属：(公財)山梨厚生病院・予防医学センター  
職種/役職：医師/所長  
趣味：音楽鑑賞(主に70~80年代の洋楽)  
ひとこと：大学で16年ほど産業中毒学の研究・教育に従事した後、現場に異動しました。現場では毎日悪戦苦闘しています。

## 事務局から

変更内容を記入し FAX送信 または 郵送

FAX 03-5362-3746

郵送 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル内  
公益社団法人 日本産業衛生学会 宛

## 理事会報告

○2019年度北陸甲信越地方会 常任理事会

下記の通り行われました。

日時：2019年6月15日（土）13:00～15:00

会場：長野東急REIホテル（長野市）

○新任常任理事のご紹介

福井大学学術研究院医学系部門

国際社会医学講座 環境保健学分野

平工 雄介 先生

## 今後の行事案内

○第62回北陸甲信越地方会学会総会

開催日：2019年10月19日（土）理事会

20日（日）学会・総会

学会長：長野県医師会長 関 隆教 先生

会場：清泉女学院長野駅東口キャンパス

ピラール館

## お知らせ

○会員情報にメールアドレスの登録をお願いします。

会員の皆様への様々なご連絡、地方会ニュースの配信、地方会役員選挙の電子化などメール送信を通じたご連絡が増えてまいります。アドレスをお持ちの方はご登録をお願い申し上げます。

&lt;登録変更の方法&gt;

(1) Webサイトから

日本産業衛生学会のトップページ より

<https://www.sanei.or.jp/>

**会員ログイン** 会員番号とパスワードでログイン  
※初期パスワードは生年月日です。



**プロフィール変更** 左メニューよりプロフィール変更を選択し、入力画面にて変更する情報を入力。



**プロフィールを変更する** ボタンを押して確定

(2) FAX送信または郵送

日本産業衛生学会のホームページより書式をダウンロード

<https://www.sanei.or.jp/>

**入会案内** 会員番号とパスワードでログイン  
※初期パスワードは生年月日です。



**入会申込書** 書式ダウンロードページへ



**登録内容変更届（退会届を含む）** 書式ダウンロード



## 編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第5号を発行することができました。今号でも、各県の会員の皆様に各記事の執筆を賜り誠にありがとうございました。

皆様の記事を頂いてご執筆内容を拝見しながら、会員お一人おひとりの人となりや熱意を感じることができ、編集作業は毎回悩みながらも楽しみの一つとなっております。最近では、皆様よりこの記事을載せて欲しいとお声がけいただくことも出てまいりました。地方会会員で集まる機会も少ないため、この地方会ニュースが皆様の交流の場となればうれしい限りです。今後とも皆様の活動を是非とも共有させてください。掲載のお声がけお待ちしております。

## 編集委員（五十音順）

編集委員長：森河 裕子

副編集委員長：塚原 照臣

編集委員：池田 裕子, 稲寺 秀邦, 遠藤 和男,  
小坂 智恵子, 佐藤 一博, 高山 英之,  
角田 ひろみ, 西澤 依小, 松永 康弘,  
丸山 猛士

事務局：上條 知子, 水木 将

